

# 令和 4年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：産業支援課  
 担当名：技術支援担当  
 内線：3777

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B19	産業技術総合センター等管理費			一般会計	商工費	商工業費	産業技術総合センター費	産業技術総合センター運営費		
事業期間	平成15年度～	根拠法令				針路分野施策	11 稼げる力の向上 1102 変化に向き合う中小企業・小規模事業者の支援	SDGsゴール 9 SDGsターゲット	9	
1 事業の概要	産業技術総合センター及び同北部研究所の適正な施設管理を図る。なお、産業技術総合センターの管理においては、川口市立科学館及び消費生活支援センターを含めたSKIPシティA1街区全体の施設管理を行っている。			5 事業説明						
ア 産業技術総合センター管理費(指定経費)	△62,013千円 入札差金による減額			(1) 事業内容 ア 産業技術総合センター管理費 所在地：川口市内SKIPシティA1棟 総床面積：35,492.54㎡ 管理費の内容：維持管理業務委託費（光熱水費、修繕費等を含む）、照明器具更新工事費等（執行委任） イ 産業技術総合センター北部研究所管理費 所在地：熊谷市内 総床面積：3,171.49㎡ 管理費の内容：維持管理費（設備保守費、修繕費、消耗品）、光熱水費、耐震実施設計（執行委任）						
イ 産業技術総合センター北部研究所管理費	△5,392千円 事務経費の節減及び入札差金による減額			(2) 事業計画 ア SKIPシティA1棟各施設の維持管理 A1棟内施設（①県産業技術総合センター ②県消費生活支援センター ③川口市立科学館）の機械設備等保守、警備、清掃及び修繕等各業務の実施 イ 産業技術総合センター北部研究所（機器開放、依頼試験等実施研究施設）の空調運転及び機械設備等保守業務の実施、耐震診断の実施 ※ 県産業技術総合センターの業務：県内産業の技術力強化を目的として、試験研究機器の開放、依頼試験の実施、産業技術の研究開発並びに貸研究室及び貸ホール・会議室の運営等の事業を実施						
2 事業主体及び負担区分	ア (県 89.3/100、市 10.7/100) イ (県 10/10)			(3) 事業効果 SKIPシティA1棟利用者数 令和2年度実績：255,032人 → 令和3年度見込：265,000人						
3 地方財政措置の状況	なし			(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 SKIPシティ内の「くらしプラザ」、彩の国ビジュアルプラザ、川口市立科学館及びNHKアーカイブス等と効率的に施設管理を行うため、毎月調整会議を開催している。						
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×2=19,000千円									
予算額		財 源 内 訳							一般財源	補正後の 予算額
		使用料・手数料	財産収入	諸収入	県債					
決定額	△67,405			△15,195	△50,000			△2,210	568,453	
現計額	635,858	28,672	15,908	106,536	230,000			254,742		

## 事業内訳書

事業名	産業技術総合センター等管理費		
単位事業名	産業技術総合センター管理費（指定経費）	予算額	△ 62,013千円

（単位：千円）

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	△11,566	—	設備更新等設計委託の入札差金による減額
工事請負費	△50,447	—	設備更新工事の入札差金による減額 設備改修工事の入札差金による減額
合計	△62,013	—	

単位事業名	産業技術総合センター北部研究所管理費	予算額	△ 5,392千円
-------	--------------------	-----	-----------

（単位：千円）

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	△1,271	—	事業の節減による減額
役務費	△9	—	事業の節減による減額
委託料	△4,112	—	施設耐震設計委託の入札差金による減額
合計	△5,392	—	